

なんケア通信

第56回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました

開催日時：令和8年10月2日（金）18:00～19:00

会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参 加 者：44名（医療関係者28名、介護支援事業関係者13名、
福祉用具専門相談員2名、調剤薬局1名）

演 題

『訪問栄養士奮闘記！～非専門職でもここまでできる！』

たにあい糖尿病・在宅クリニック 谷合 久憲 先生
管理栄養士 齋藤瑠衣子 様

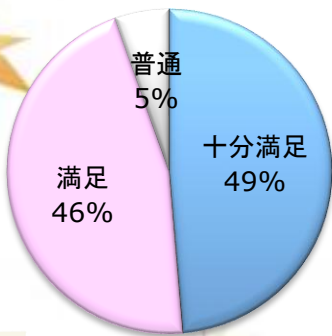
今回の講演では、住み慣れた地域や自宅で安心して療養生活を送るために必要な、多職種による連携とICTの活用について学びました。管理栄養士の齋藤様からは、訪問栄養指導での食事支援について、「最後まで口から食べたい」という患者さんの思いを大切にしながら、飲み込みの状態や食べ物の形、姿勢などを確認し、一人ひとりに合わせた支援を行った実践例が紹介されました。谷合先生からはMCSを活用した情報共有やオンライン診療、音声入力・生成AIなどによる業務の効率化、ゼロトラストを前提としたセキュリティ対策についてご講演いただきました。

医療や介護に関わる様々な職種がICTを上手に活用し、地域全体で患者さんの生活を支えていくことの大切さを考える機会となりました。

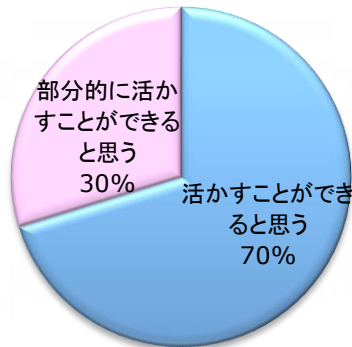
アンケート 結果

回収率：84.1%（アンケート配布：44名、回収：37名）

1.なんけあの会に参加して
いかがでしたか？



2.今後、地域での活動に活かす
ことができそうですか？



皆様から ご意見・ご感想

谷合先生の多職種のメンバーを思いながらお仕事に向き合っている姿や熱意と、最新の情報を得る姿勢が伝わってきました。楽しかったです。

（介護支援事業所関係者）

ぜひ当院のオンライン診療等へ向けたアドバイスが欲しいです。キロクとAIのつながりが気になりました。また機会がありましたらお願いしたいです。

（医療機関関係者）

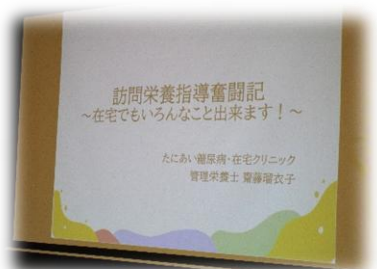
食事摂取量が低下しているご利用者もいるため、本日知ったことをすぐ実践できたらいいなと思いました。

（介護支援事業所関係者）

専門的な部分が多かったのですが、先進的取り組みに感動した。

（地域包括支援センター）

会場の様子



次回開催の お知らせ

開催日時：令和8年12月4日（金）18:00～19:15
会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」